

3月7日

安全な学校生活を送ってほしい (株)住友建設(標茶町)が社会貢献



手作業で丁寧に

標茶町の(株)住友建設(住友代表取締役)が3月7日、奥春別小学校で除雪作業などを行いました。

児童や来校する保護者、教員の皆さんが安全に利用できるようにと行われたもの。9人の作業員の皆さんが3台の重機を駆使して児童玄関屋根上の雪氷撤去、グラウンドの除雪、堆積雪の雪割りを行いました。広いグラウンドは重機を使って手際よく作業。グラウンド入口の階段部分などは傷がつかないようにスコップを使い、大人の腰ほど積もった雪をすべて手作業で取り除きました。

3月4日

多くの参加者が笑顔で楽しんで てしかが町女性のつどいを開催



中村専門官による講演

「てしかが町女性のつどい」(町女性団体協議会主催)が3月4日、町社会老人福祉センターで160人以上が集まり開催されました。

今年度は町総務課の中村防災対策専門官を講師に迎え、地震や水害、噴火に伴う有事の対応の講義を実施。休憩時間を利用し、公民館講座「うたごえ公民館」を指導する更科俊一郎氏を講師に迎え「いい日旅立ち」などを合唱しました。午後は脳トレ摩周の代表大友れい子さんとスタッフの皆さんによる生涯学習講演会(教育委員会主催)を開催し、認知症予防トレーニングを実施。参加者の皆さんは苦戦しながらも楽しく体験することができました。

2月19日

犯罪被害に遭わないために 弟子屈防犯協会・町暴追協が合同研修会を開催



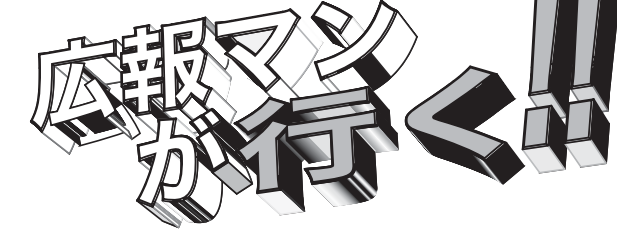
田村生活安全係長の講演

弟子屈防犯協会と町暴力追放運動推進協議会の合同研修会が、2月19日、町公民館で開催され町民など約40人が参加しました。

研修会では、弟子屈警察署の田村智生活安全係長を講師に迎え「管内の犯罪状況と特殊詐欺の現状」と題して講演が行われ、車上狙いが大幅に増加していることや、特殊詐欺が再び増加傾向にあることなどを話されました。

「被害にあわないことが一番だが、仮に被害にあった場合はすぐに相談してほしい。すぐに警察に届け出ることで、被害を食い止めることもできる」と述べました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

3月8日

第57回全国青年農業者会議 4Hクラブが農林水産省経営局長賞を受賞



賞状を手にした元山亮真さん

第57回全国青年農業者会議が3月7日から8日に東京都で行なわれ、弟子屈町4Hクラブの元山亮真さんが、プロジェクト発表(畜産・土地利用型部門)で優秀賞の農林水産省経営局長賞を受賞しました。

元山さんは酪農を営む生産者として、クラブ員と協力しペレニアルライグラス(ペレ)の導入について研究。凍害に弱いペレでも越冬できること、実際に乳量に結びついているのか給与試験を行い、費用対効果が高いことを分析。「優秀賞は4Hクラブで受賞したもので、嬉しく思っている。ペレの調査・検証などは続けていきたい」と話していました。

3月7日

身近な政治を学ぶ 弟子屈小学校6年生が町議会を傍聴



議会に聴き入る児童

弟子屈小学校(佐野哲哉校長)の6年生の児童が3月7日、平成30年第1回町議会定例会を傍聴しました。

社会科の授業の一環で、政治の単元を学習していることから傍聴を行ったものです。この日は定例会2日目で、徳永町長の町政執行方針、小林教育長の教育行政方針、一般質問が行われました。子どもたちはやや緊張した面持ちで傍聴席に着き、ノートに書き留めるなどしながら真剣に聴き入っていました。

2月22日

屈斜路湖などで調査・研究した成果を発表 玉川大学の学生が調査報告



研究成果を発表する学生

玉川大学の学生による「屈斜路湖周辺の生物調査及び魚類資源への影響調査」についての報告会が2月22日、役場で開催されました。

町と同大などを含む玉川学園は、平成27年に包括連携協定を締結し共同研究を行っています。徳永町長は「屈斜路湖をはじめとする町内の自然利用の基礎となるのがこのような研究発表を楽しみに聴きたい」とあいさつ。同大の学生4人が「森林におけるクマゲラの生息環境」「屈斜路湖におけるジュズカケハゼの生息地利用と食性」などに関する調査・研究についてそれぞれ発表を行いました。

2月20日

地熱事業の活用を考える 弟子屈町地熱理解促進事業地熱勉強会を開催



地熱が持つ可能性を考える

町主催による弟子屈町地熱理解促進事業地熱勉強会が2月20日、社会老人福祉センターで開催され、町民約70人が参加しました。

町では、地熱事業の可能性と今後の活用を視野に、町内の地熱資源量を把握するための調査・検討を行っています。講演会は皆さんに地熱への理解を深めてほしいと開催されたもの。今回は、専門家や地元ホテル事業者などをパネラーとしたパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場から報告や事例紹介などが行われました。参加者の皆さんからも質問されるなど、活発な意見交換が行われました。

3月14日

観光についての意見交換 弟子屈高校で和歌山大学による出前授業



和歌山大の教授らが講演

和歌山大学の教授らによる観光に関する出前授業が3月14日、弟子屈高校(木村浩士校長)で行われました。

同校では、3年時の総合的な学習の時間で町の観光プランニングに取り組んでいます。出前授業は観光プランニングへの意識を高めるために行われたもので、1・2年生が講演を聴講。2年生は観光や大学についての意見交換会にも参加しました。

講師は、同大観光学部出口竜也教授、竹林浩志准教授。講演では「観光とは」「観光の目的とは」といった観光戦略論などを学びました。講演後は、さまざまな意見交換を行いました。

3月14日

弟子屈らしいメニュー作りのきっかけに 弟子屈産大豆のレシピ講習会を開催



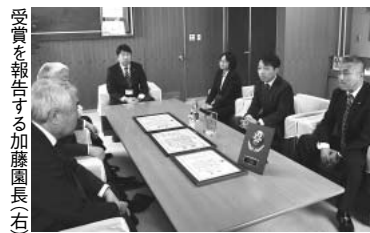
意外な組み合わせのレシピも

弟子屈産大豆のレシピ講習会(てしかがえこまち推進協議会主催)が3月14日、川湯ふるさと館で行われました。

同協議会では地場産食材を使ったメニューを増やしたいと、事業者の方を対象にしたレシピ講習会を毎年開催しています。ANAクラウンプラザホテル釧路の榎金久幸総料理長を講師に招き、今年は「大豆」を使った調理講習を実施。ベジタリアン向けのレシピなどが紹介され参加者の皆さんの注目を集めました。後半は摩周湖農協販売課小原浩志課長、大豆生産者の猪狩広昭氏による弟子屈産大豆についての講義も行われ、生産者の苦労や努力を知る貴重な機会となりました。

3月2日

温泉熱利用でイチゴを栽培「新エネ大賞 会長賞」受賞 (株)オリエンタルランドが町に受賞を報告



受賞を報告する加藤園長(右)

東京ディズニーリゾートを運営し、屈斜路地区でイチゴ栽培を行っている(株)オリエンタルランドが、新エネルギー財団の「新エネ大賞 会長賞」を受賞し、3月2日、町役場に加藤富久園長らが訪問しました。イチゴを栽培するビニールハウスは、温泉熱を使った暖房システムを採用するなどの最新技術を取り入れ、二酸化炭素の排出抑制につなげてきました。この方式が冬期のイチゴ栽培を可能にしている点も評価され、今回の受賞となりました。今回は、北海道経済産業局と北海道の省エネに関する賞も同時に受賞しています。

2月28日

姉妹都市 鹿児島県日置市から3頭目 黒毛和種の優良繁殖雌牛を導入



「こゆき」を囲んで

本町の姉妹都市鹿児島県日置市から優良肉牛が導入され、2月28日、仁多の澁谷幹夫牧場で「日置市優良肉牛引渡式」が開催されました。

式典では摩周和牛改良組合、摩周湖農業協同組合などから関係者およそ20人が出席し、今後のブランド化と肉牛生産の振興を祝いました。今回導入された繁殖雌牛「こゆき」は、摩周湖農業協同組合と弟子屈町で共同購入し摩周和牛改良組合の組合員が飼育管理を行います。受精卵を採卵して同改良組合の組合員が飼育する雌牛へ移植し、優良繁殖牛の増頭を目指していきます。